

各種事業の実績や 今年度の取組など



防災・まちづくりの拠点となる市役所

重点戦略1 未来へつなげる人づくり

3 すべての人に
健康と福祉を



安心して産み育てるみんなで子育てプロジェクト

ヘルシースタート

医療・保健・福祉・教育が連携し、妊娠期から子育て期にわたるまで切れ目
のない支援を行うもの。

平成29年度に「日向市子育て世代包括支援センター」をこども課内に設置

【主な取り組み】

～令和2年度

- 産前・産後サポート
- 産後ケア事業
- 産婦健康診査や新生児聴覚検査の公費負担など



令和3年度

- 多胎妊娠婦を対象とした
子育てサロンやヘルパー派遣事業
- 任意予防接種費用の助成拡大 など

「児童虐待の防止」や「子どもの貧困対策」と連携した、子どもの健やかな成長を見守る体制づくりを推進します。

重点戦略1 未来へつなげる人づくり

安心して産み育てるみんなで子育てプロジェクト

放課後児童クラブ

児童が放課後に帰宅しても、保護者が仕事などで家庭にいない小学校低学年の児童の健全育成を図るために、遊びを通して対象児童の育成指導を図るもので

す。

クラブ名	設置数	場所	対象
日知屋児童クラブ	1	日知屋児童センター	日知屋小学生
財光寺児童クラブ	2	財光寺小学校余裕教室	財光寺小学生
富高児童クラブ	2	富高小学校余裕教室	富高小学生
財光寺南児童クラブ	2	財光寺南小学校余裕教室	財光寺南小学生
大王谷児童クラブ	1	大王谷児童館	大王谷小学生
大王谷小児童クラブ	1	大王谷学園初等部余裕教室	大王谷小学生
日知屋東児童クラブ	1	日知屋東小学校余裕教室	日知屋東小学生

6校区 12 ※上記の他、民間設置2施設有

定員
460名

特にサービスを必要としている1~4年生については「新・放課後こども総合プラン」の中で放課後こども教室と連携しながら、供給体制を確立できるよう、定員の拡充を図っています。



重点戦略1 未来へつなげる人づくり



未来を支える「ひゅうがっ子」育成プロジェクト

児童生徒1人1台のタブレット端末を整備し、ICT教育に取り組んでいます

【これまでの取り組み】

- ・児童生徒1人1台のタブレット端末、4,850台の整備
- ・学校内のネットワーク環境の整備
- ・タブレットの画面などを映し出す大型テレビを全小中学校の教室に設置

【今年度の取り組み】

- ・国語・算数(数学)・理科・社会・英語の5教科のデジタルドリルを児童生徒が使えるように整備



重点戦略1 未来へつなげる人づくり

未来を支える「ひゅうがっ子」育成プロジェクト

➡ 夢に向かって挑戦する“ひゅうがっ子”を全力で支援します。

★活動に必要な経費を最大30万円まで補助

◆平成30年度

- 1 プロの三味線奏者
- 2 国連職員
- 3 日本を代表する陸上選手

◆令和元年度

- 1 日本を代表する陸上選手
- 2 女性消防士
- 3 女子プロ野球選手

◆令和2年度

- 1 女子ソフト日本代表の4番打者
- 2 フルート奏者
- 3 日本の農業技術を世界に広める

◆令和3年度

- 1 日本を代表するバドミントン選手(2名)
- 2 本の編集の仕事に携わりたい



重点戦略2 活力を生み出すにぎわいづくり戦略

七夕!

次世代産業の企業誘致を推進し、働く場所を確保します

➡ 3年間で15社の企業立地（新設・増設）が進みました



【企業立地】
令和元度から3年度の3年間で15社が立地
(新設5社、増設10社)

設備投資額 計682億円
新規雇用者数 231名

【細島港19号岸壁の整備決定】
「16号岸壁」整備に続き
令和4年度の新規事業として
19号岸壁の整備も決定！




重点戦略2 活力を生み出すにぎわいづくり戦略

トコロ

ワーケーションを通じて、将来的な企業誘致、移住・定住の足掛かりとします

➡ 2年間で延べ300名が日向市でのワーケーションを実践しています



【ワーケーション実証実験(令和2年度～)】
総合人材会社国内大手のパソルグループとの委託
により、実証実験を展開中
※ 参加者数 延べ300名



【専用施設整備への支援】
国のテレワーク交付金を活用し、市内初となるワーケーション専用施設「Surf Office(サーフオフィス)」の開設を支援しました。
※ 国の交付金「高水準タイプ」に採択



【全国に向けたプロモーション事業】
先進企業等と連携し、「ワーケーションフォーラムin日向」などのプロモーションを行いました。
※ 全国紙をはじめ、多くの報道機関に掲載



【関係機関との連携強化】
富士通株式会社との「ワーケーションパートナーシップ協定」締結など、関係機関との連携にも取り組みます。
※ 大手企業と今後の連携が可能に

重点戦略2 活力を生み出すにぎわいづくり戦略

新たな人が集まる魅力づくりプロジェクト

➡ ポストコロナの旅行需要の回復を見据えた観光施設等の改修に加え、「新たな生活様式」に対応した施設を整備しました。

馬ヶ背展望所「スケルッチャ！」



日向サンパークの施設整備



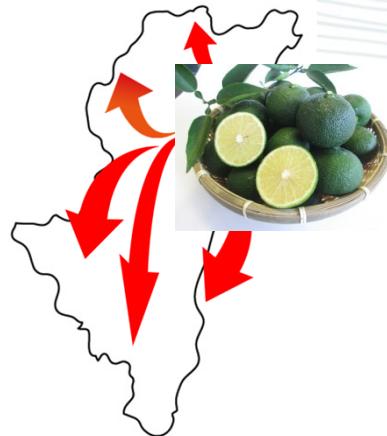
【GW期間中(4/29～5/8)の状況】

- ・馬ヶ背展望所「スケルッチャ！」を訪れた人 8,292人(前年比2倍)
- ・日向サンパークに隣接する「道の駅ひゅうが」を訪れた人 21,314人(前年比2倍)

重点戦略2 活力を生み出すにぎわいづくり戦略

強みを生かした「稼げる」産業振興プロジェクト

➡ 市のブランド品目「へべす」の栽培支援やカモミール等の薬草の振興に取り組んでいます。



重点戦略2 活力を生み出すにぎわいづくり戦略

強みを生かした「稼げる」産業振興プロジェクト

➡ 「へべす」の栽培支援や県内外での認知度向上および販路拡大、そして「カモミール」等の薬草振興に取り組んでいます。



【注文率】
夏季新商品サンドイッチ8商品中
(2015年以降過去6年間)
1位

【注文率】
春夏新商品パスタ8商品中
(2018年以降過去3年間)
1位

【注文率】
春夏新商品ドリンク18商品中
(2015年以降過去6年間)
1位



マスター・ソムリエ高野豊さん監修
『へべすジン』(左)、『カモミールジン』(右)



重点戦略2 活力を生み出すにぎわいづくり戦略

強みを生かした「稼げる」産業振興プロジェクト

➡ 市のブランド品目「へべす」の栽培支援やカモミール等の薬草の振興に取り組んでいます。

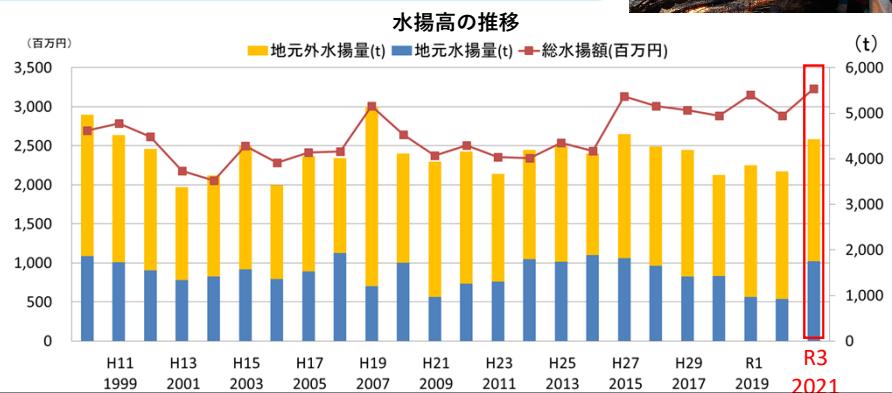


重点戦略2 活力を生み出すにぎわいづくり戦略

強みを生かした「稼げる」産業振興プロジェクト

➡ 持続可能で安定した漁業経営の基盤強化に向けた支援を行います。

- ・近年は、基幹漁業であるマグロ延縄漁が豊漁
- ・日向市漁協の令和3年度の総水揚額は約32億3千万円(過去最高)
- ・「細島いわがき」はコロナ禍により影響を受けたものの、ネット販売や直売所の開設などにより、出荷量も徐々に回復



重点戦略2 活力を生み出すにぎわいづくり戦略



新たな人が集まる魅力づくりプロジェクト

→ 令和5年度からの野球場改修に向けて、実施設計を進めています。

【現在の施設の状況】

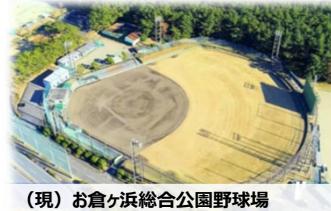
- ・設置から43年が経過し、防球ネット、スコアボード等の老朽化
 - ・「本部席」や球場内の「ダッグアウト」など近年のスポーツ競技に求められる施設としては、手狭な状況にあるため、利用面においても支障が生じている。

【今後の取り組み】

- ・令和4年度に実施設計、令和5・6年度に改修工事を行う予定

※これまでのキャンプ受入実績

チーム	実施期間
大阪近鉄バファローズ	1983年～2004年
東北楽天ゴールデンイーグルス	2005年
東北楽天ゴールデンイーグルス(ファーム)	2015年～2021年
起亜タイガース(韓国)	2006年～2011年
ネクセンヒーローズ(韓国)	2011年
KTウィズ(韓国)	2015年、2017年～2018年
パナソニック野球部(社会人)	2016年～2021年
立教大学硬式野球部	2015年～2018年
侍ジャパン女子代表(マドンナジャパン)	2018年



(現) お倉ヶ浜総合公園野球場

※その他 大阪ガス、JR西日本、八戸学院大など、社会人・大学公式野球部等の受入実績多数

重点戦略3 笑顔で暮らせる地域共生の社会づくり



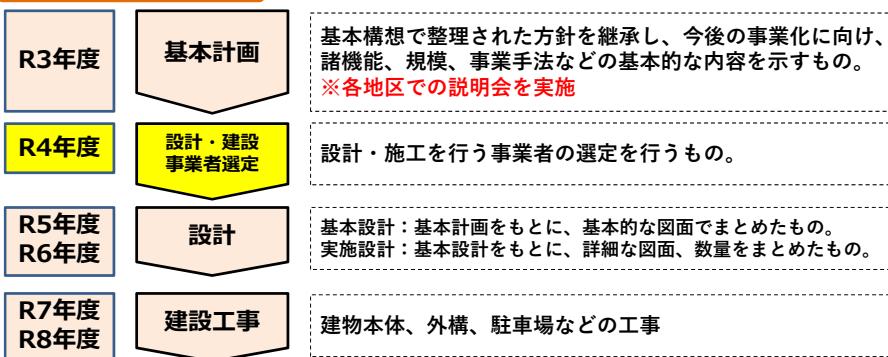
笑顔で暮らせるスポーツ・健康推進プロジェクト

→ 目向市総合体育館整備基本計画を策定しました。

【現在の施設の状況】

- ・市体育センター及び武道館は、建設から約50年が経過しており、老朽化が進行中
 - ・厳しい財政状況や将来の人口減少を見据えた施設のあり方の検討や、**多発する自然災害に備えた避難拠点としての整備や多様化する市民ニーズに応える設備の充実も求められている。**

今後の建設までの流れ



重点戦略3 笑顔で暮らせる地域共生の社会づくり



総合体育館整備に伴う財政シミュレーション

◎地方債現在高、基金現在高、実質公債費比率、将来負担比率の4つの財政指標について、総合体育館や東郷診療所を整備した場合と整備しない場合でシミュレーションをしました。

■事業費の想定

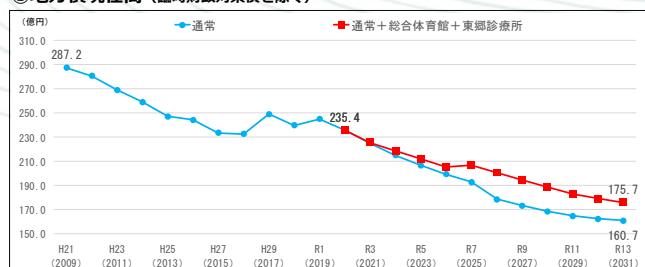
項目	総合体育館	東郷診療所
設計・整備期間（年度）	R5（2023）～R8（2026）	R3（2021）～R5（2023）
供用開始時期	R9（2027）.1～	R6（2024）.4～
総事業費	4,200,000	470,000
国県補助	1,965,000	34,000
その他	200,000	—
地方債	A 1,821,000	436,000
一般財源	B 214,000	—
地方債の概要	●公共事業等債（交付税措置20%） ●一般単独事業債（交付税措置なし） ※据置2年・20年償還・利率1% ●過疎対策事業債（交付税措置70%） ●病院事業債（交付税措置なし） ※据置2年・12年償還・利率1%	
交付税算入額	C 393,000	152,600
実質負担額（総額）	D（B+A-C） 1,642,000	283,400
実質負担額（1年あたり）	E（D÷償還期間） 82,100	23,600

重点戦略3 笑顔で暮らせる地域共生の社会づくり

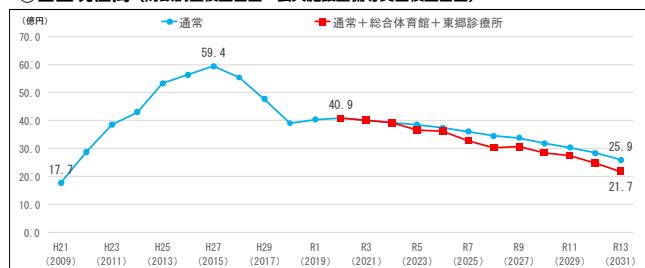


総合体育館整備に伴う財政シミュレーション

①地方債現在高（臨時財政対策債を除く）



②基金現在高（財政調整積立基金・公共施設整備等資金積立基金）



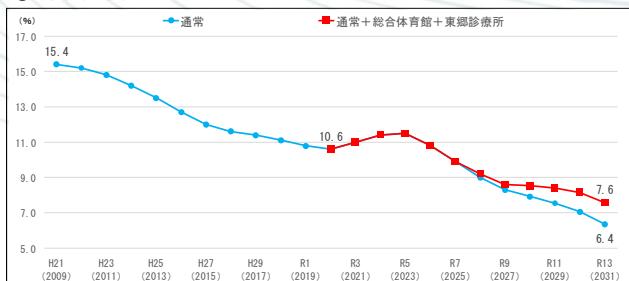
重点戦略3 笑顔で暮らせる地域共生の社会づくり

総合体育館整備に伴う財政シミュレーション

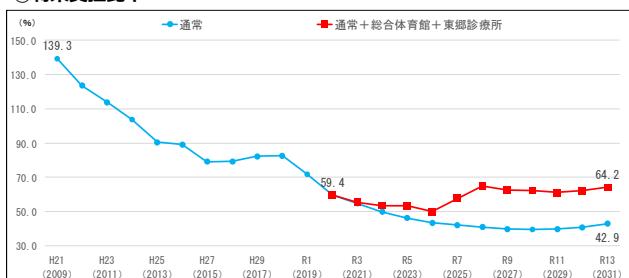
3 すべての人に
健康と福祉を



③実質公債費比率



④将来負担比率



重点戦略3 笑顔で暮らせる地域共生の社会づくり

住み慣れた地域で暮らせる社会づくりプロジェクト

ひとつの世帯に複数の課題が存在することも…



➡ 今年度から「重層的支援体制整備事業」を実施

I 相談支援

包括的な相談支援の体制

- 属性や世代を問わない相談の受け止め
- 多機関の協働をコーディネート
- アウトリーチも実施

II 参加支援

- 既存の取組で対応できる場合は、既存の取組を活用
- 既存の取組では対応できない状況のニーズにも対応 (既存の地域資源の活用方法の拡充)

(狭間のニーズへの対応の具体例)
就労支援 見守り等居住支援

生活困窮者の就労体験に、経済的な困窮状態ないひきこもり状態の者を受け入れる等

I ~ IIIを通じて

- 継続的な伴走支援
- 多機関協働による支援を実施

III 地域づくりに向けた支援

住民同士の顔の見える関係性の育成支援

- 世代や属性を超えて交流できる場や居場所の確保
- 多分野のプラットフォーム形成など、交流・参加・学びの機会のコーディネート

⇒新たな参加の場が生まれ、地域の活動が活性化

重点戦略3 笑顔で暮らせる地域共生の社会づくり



住み慣れた地域で暮らせる社会づくりプロジェクト

➡ 救急車の計画的な更新や東郷分遣所への新たな救急車の配備など救急体制の充実強化に取り組みます。

- ・令和元年度:「はしご車」の更新
- ・令和3年度:本署の「救急車」を更新、隔離搬送用機材「アイソレーター」などの資機材を整備
- ・今年度:南分遣所の「救急車」を更新、東郷分遣所の「人員体制」を整え、「救急車」の配備



重点戦略4 自然豊かで快適な強いまちづくり

便利で住みやすいまちづくりプロジェクト

➡ 超高速ブロードバンド化を進め、市内全域の通信環境を整備しました。

全国の光ファイバ整備率

令和2年3月末

99.1%

(未整備53万世帯)

※ 住民基本台帳等に基づき、事業者情報等から一定の仮定の下に推計したエリア内の利用可能世帯数を総世帯数で除したもの（小数点第二位以下を四捨五入）。

都道府県別の光ファイバ等整備率



出典：総務省「令和3年版情報通信白書」

重点戦略4 自然豊かで快適な強いまちづくり

助け合う災害に強いまちづくりプロジェクト

➡ 避難タワーや避難山など津波避難施設13カ所と備蓄倉庫1カ所を整備しました。



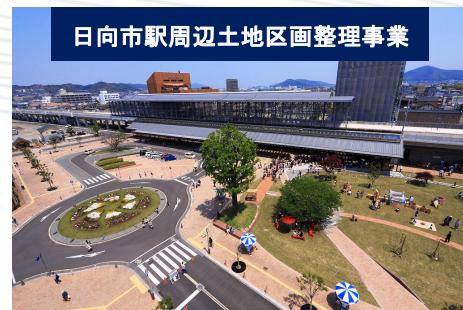
重点戦略4 自然豊かで快適な強いまちづくり

便利で住みやすいまちづくりプロジェクト

➡ 早期の事業完了に向けて建物移転、及び道路工事に取り組みます。



財光寺南土地地区画整理事業



日向市駅周辺土地地区画整理事業

・家屋移転率（令和3年度末）95.5%

・今年度の当初予算額 約10億円

⇒長期化する事業の早期完成に向けて、建物移転、及び、関連する宅地造成、道路整備に取り組む。

・家屋移転率（令和3年度末）91.8%

・今年度の当初予算額 4億円

・概成後、都町、上町、鶴町、原町の一部の第1工区は、「令和5年度事業完了」に向けて今年度、町界町名の変更手続き開始

重点戦略4 自然豊かで快適な強いまちづくり

助け合う災害に強いまちづくりプロジェクト

➡ 安全で良質な水の供給と水道事業の安定経営を図ります。

古い水道管を『地震に強い水道管』に取り替えています



ダクタイル鉄管(耐震管)



配水用ポリエチレン管(耐震管)

重点戦略4 自然豊かで快適な強いまちづくり

助け合う災害に強いまちづくりプロジェクト

➡ 安全で良質な水の供給と水道事業の安定経営を図ります。

水道料金改定の目安

一般住宅（3人） 月に20m³使用 $\phi 13\text{mm}$



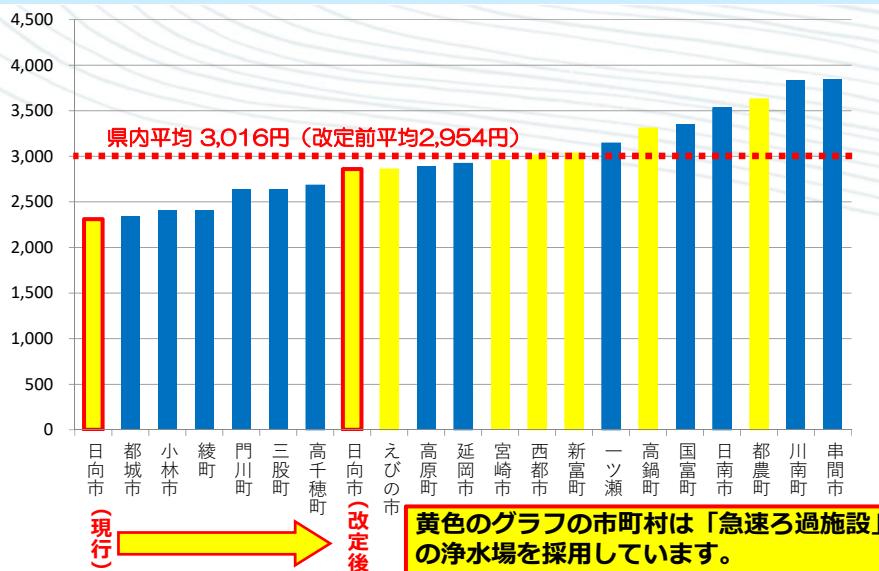
現在2,310円 ⇒ 第1段階2,750円【+440円】

第2段階2,860円【+110円】

重点戦略4 自然豊かで快適な強いまちづくり

助け合う災害に強いまちづくりプロジェクト

県内の上水道料金比較



新型コロナウイルス感染症対策事業

感染拡大を防止し、市民生活や地域経済の回復に向け、市民の皆さんに寄り添った支援を実施

- ➡ 基本姿勢 ①市民の命と健康を守る ②市民の暮らしを支える
③市民が「笑顔で暮らせる元気なまち」を取り戻す

感染拡大の防止策

- ・感染防止対策に係る経費の補助
- ・小中学校における衛生環境整備
- ・ワクチン接種体制づくり



地元の雇用維持と事業者支援

- ・コロナに負けるな！元気クーポンの販売
- ・1次産業分野等の消費拡大支援
- ・企業PR動画を作成し求職者等に発信



市民生活の支援

- ・公共料金等の納付免除
- ・子育て世代への給付金
- ・自治公民館活動継続のための環境整備支援



将来を見据えた取り組み

- ・観光宿泊者向けクーポンの販売
- ・観光地の魅力向上
- ・中小企業が行うデジタル化への支援



【令和4年度の取り組み】

- | | |
|--------------------------------------|------------------|
| ・施設園芸農業者への燃油購入費の補助 | ・水道料金の基本料金の免除 |
| ・飼料価格上昇の影響を受けた畜産農家への支援 | ・子育て世帯への給付金 |
| ・交通事業者への事業継続のための支援 | ・食材が高騰する学校給食への補助 |
| ・観光消費の拡大に向け「観光資源」と「食」を体感できる複合イベントの開催 | など |

